

## 会議録要旨

(1) 会議の名称	第1回手話言語条例検討委員会
(2) 開催日時	令和元年10月28日(月曜日)午後7時～午後8時45分
(3) 開催場所	越前市文化センター3階 301号室
(4) 出席委員氏名	青井委員 奥村委員 森本委員 小林照委員 鶴井委員 澤崎委員 児玉委員 蓑輪委員 小林英委員 藤木委員 山下委員
(5) 欠席委員氏名	
(6) 出席所管課職員職氏名	市民福祉部 川崎部長 社会福祉課 笹田課長、小林主幹、山森主事、城戸(囑託)
(7) 会議議題	①手話言語条例の概要 ②手話言語条例検討委員会の役割 ③4月からこれまでの経過報告 ④ワークショップ報告 ⑤越前市手話言語条例意見交換会
(8) 傍聴者の数	8人
(9) 会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回手話言語条例検討委員会資料</li> <li>・手話言語条例策定スケジュール</li> <li>・他県市条例(鳥取県、北海道石狩市、三重県松坂市、石川県加賀市)</li> </ul>
(10) 会議の内容の要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長及び副委員長職務代理者の選出において、青井氏が委員長、奥村氏が副委員長職務代理者として選任された。</li> <li>・事務局より手話言語条例の概要、委員会役割と今後のスケジュール、先進地視察、各種団体と開催したワークショップについて報告を行い、委員から「手話通訳者と手話通訳士の違い」や「手話言語条例を検討する目的や背景」について質疑が出て、事務局および当事者の森本委員より説明を行った。また、手話の普及について質疑が出たが、条例とは別に施策推進方針を計画して定めていくと事務局より説明を行った。</li> <li>・越前市手話言語条例(案)について協議し、次のような意見が出た。 <ul style="list-style-type: none"> <li>意見1「聴覚障がいがあっても手話の使用は本人次第なので、ろう者の表現を明示したほうがよい」</li> <li>意見2「手話は手の動きだけではなく、表情も含むので、ろう者本人の手話や表情を見ながら手話を覚えたほうがよい」</li> <li>意見3「小さい時から手話に触れる環境づくりをテーマにすれば、越前市らしい条例ができると思う」</li> <li>意見4「松坂市のように市民に親しみやすい条例の名前にするのもよい」</li> <li>意見5「市民が興味を持つような前文を入れることで、身近な条例になる」</li> </ul> </li> </ul>
(11) その他	—